

学校田での米づくり

禾生第二小学校では、長きにわたり総合的な学習の取組として、学区内の小形山にある水田をお借りして、地域の方々の指導を受けながら、田植えから草取り、脱穀、精米など、一連の稲作の作業を体験しています。今年度は、その取組を埼玉県内の学校に発表しました。

埼玉県鷲宮小とオンラインで交流

「学校だよりより」



パソコンを使って発表

5年生が、11月22日の市内小中公開授業で、埼玉県鷲宮小学校とオンラインで2回目の交流授業をしました。今回は、本校の5年生が、総合的な学習で取り組んできた「米づくり」について、スライドを使い、画面共有をして、グループごとに発表をしました。これまで、地域の方々に、田植えや鳥よけ、稲刈りや脱穀、精米など、体験を通して教えていただきました。本やネットで調べただけの発表とは、やはり説明も違います。

事前には、学校田のお米を鷲宮小に送りました。当日の午前中に、鷲宮小では調理実習をして、届いたお米を炊いて食べたそうです。その上で、真剣に話を聞き、質問や意見をいただいたことに、子どもたちはうれしかったようです。自分たちでお米にネーミングした「ちょうう米 友情のかにめぼれ」のような、交流会になりました。



田植え 5月



草取り 6月



鳥よけ 8月



稲刈り 9月



脱穀 10月



精米 10月

スイートコーンを育てよう

今年度、禾生第二小が、小学生による農作業体験「やまなし食農園教育モデル実践事業」の実施校となりました。3年生が、6月から9月まで農作業体験活動を行いました。学区にある都留市道の駅でスイートコーンを栽培している方々、富士・東部農務事務所の方々に指導していただきました。

内容 1回目「スイートコーンを育てよう」オリエンテーション 2回目 種まき、間引き体験
3回目 除房体験 4回目 収穫体験 試食 5回目 ドローンデモ 6回目 調理実習
たねまき 除房体験 収穫体験 調理体験 コーンポタージュ

